

号外はインターネットの福島民報ホームページ (<https://www.minpo.jp/>) でもご覧になれます。

# 佐々木朗 完全試合

## 楨原以来28年ぶり

### 13連続奪三振、プロ野球新

プロ野球ロッテの佐々木朗希投手(20)が10日、千葉市のZOZOマリン

スタジアムで行われたオリックス3回戦で史上16人目、16度目の完全試合

を達成し、13者連続奪三振のプロ野球新記録も樹立した。

プロ野球での完全試合は1994年5月18日に巨人の楨原寛己が広島戦

でマークして以来28年ぶりで、指名打者制のあるパ・リーグでは78年8月31日に阪急の今井雄太郎がロッテ戦で果たして以来44年ぶり。

打者27人から19三振を奪い、95年に野田浩司(オリックス)がマークした1試合最多記録に並んだ。連続奪三振はこれまで57年の梶本隆夫(阪急)と58年の土橋正幸(東映)の9が最多で、大幅に塗り替えた。

佐々木朗は岩手・大船渡高時代に球速163キロをマークして注目され、2020年にドラフト1位でロッテ入団。昨季にプロ初勝利を含む3勝を挙げ、クライマックスシリーズ(CS)でも好投した。今季は3年目で初めて開幕ローテーションに入り、この試合も含めて3試合連続2桁奪三振をマークするなど好投を続けている。



オリックス3回戦でプロ野球新記録の13者連続三振を含む史上16人目の完全試合を達成したロッテの佐々木朗希投手。10日、ZOZOマリンスタジアム